

# 入学の日のために



## 1. 生活のしつけについて

(1) これだけは、はっきり言える。

- ・名前を呼ばれたら「はい」の返事が言える。
- ・「おはようございます」「さようなら」「こんにちは」「ありがとうございます」「ごめんなさい」などのあいさつができる
- ・自分の名前、かんたんな住所（子ども会）が言える。
- ・自分が言いたいことや困ったことは先生や友だちに言える。

(2) 自分のことは、自分でする習慣をつける。

〈登校前〉

- ・洗顔、歯みがき、排便をする。
- ・衣服の着脱ができる。
- ・朝食をとる。



〈学校で〉

- ・靴を左右間違えずにはく、ぬぐ、そろえてしまうことができる。
- ・自分の持ち物の整理や片付けができる。
- ・洋服を脱いだり、着たり、たたむことができる。
- ・傘の取り扱いや片付けができる。
- ・自分のものと他人のものの区別ができる。



(3) 早寝、早起きの習慣をつける。

- ・寝る時刻、起きる時刻を決める。（睡眠時間は、10時間ぐらい）
- ・テレビやゲームの時間を決めておく。

(4) 正しい食事の仕方を身につける。

- ・食前の手洗いをする。
- ・20分ぐらいで食事ができる。
- ・偏食をしない。
- ・正しいはしの使い方ができる。



(5) トイレのしつけを身につける。

- ・毎朝、登校前に排便の習慣をつける。
- ・大便の時、パンツを全部ぬがずにできる。
- ・排便の後、きちんと拭き、流す。
- ・トイレを出て、戸を閉め、手を洗う
- ・トイレを出る時、スリッパをそろえる。
- ・和式・洋式どちらのトイレも使用することができる。



(6) だれとでも仲良くできる。

- ・いろいろな友だちと遊べる。
- ・自分勝手なことはしない。
- ・いやなことは、「いや」とはっきり伝える。
- ・なかまはずしや弱いものいじめをしない。
- ・上級生と親しくし、話ができる。



(7) 交通のきまりを守る。

- ・歩道など安全なところを通る。
- ・道路や踏み切りの安全な渡り方を身につけておく。
- ・家と学校間の安全な道順を知っておく。(通学路や危険個所の確認を)
- ・集団登校をする。(集合場所や時間の確認を)

## 2. 入学前の健康・衛生について

- ・就学前の健康診断で、疾病やその他の異常があった人は、治療をしておく。
- ・清潔なハンカチ・ちり紙を身につける習慣をつけておく。
- ・マスクをきちんとつける習慣をつける。
- ・具合が悪いときなど自分で話ができる。

## 3. 入学前の勉強について

- ・自分の名前が、ひらがなで書けて読める。(縦書き, 横書き)
- ・鉛筆が、正しく持てる。
- ・右と左がわかる。
- ・そのほか ……ひもの結び方やぞうきんしぼりなど

習慣というものは、その文字が示しているように、一朝一夕には形成されるものではなく、長い時間かかって作りあげていくものです。

だから、それがたとえ悪い習慣であろうと、ひとたび身についたものになると、容易には変えられない性質をもっています。

(中略)

幼いときからよい習慣を身につけるように、また悪い習慣をもたないようにすることは、子ども自身の力だけではできません。むしろまわりの大人(特に親)、家庭の努力、すなわち、しつけが大切な役割を果たすのです。

「井坂行男氏」の書籍より抜粋